



平成21年12月期 第2四半期決算短信

平成21年8月13日

上場取引所 JQ・NEO

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社
 コード番号 4572 URL <http://www.carnabio.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 吉野公一郎
 (氏名) 相川 法男

TEL 078-302-7039

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第2四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第2四半期	318	—	△162	—	△158	—	△162	—
20年12月期第2四半期	238	—	△118	—	△167	—	△168	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第2四半期	△3,049.26	—
20年12月期第2四半期	△3,417.21	—

(注)1.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」等に基づき四半期連結財務諸表を作成しているため、平成21年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。また、平成20年12月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成20年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2.平成20年12月期第2四半期及び平成21年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第2四半期	1,781	1,658	93.1	31,141.72
20年12月期	2,070	1,789	86.4	33,587.30

(参考) 自己資本 21年12月期第2四半期 1,658百万円 20年12月期 1,789百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年12月期	—	0.00	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	710	42.1	△359	—	△372	—	△363	—	△6,814.34

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第2四半期	53,270株	20年12月期	53,270株
② 期末自己株式数	21年12月期第2四半期	一株	20年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年12月期第2四半期	53,270株	20年12月期第2四半期	49,222株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

・通期の連結業績予想は、第2四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、平成21年2月13日公表の予想数値を修正いたしました。当該予想数値の修正に関する事項につきましては、本日(平成21年8月13日)公表の「平成21年12月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界経済の急減速により、企業収益の落込み、設備投資の減少や雇用情勢の悪化等、依然として厳しい状況で推移しておりますが、輸出や生産の一部に持ち直しの動きが見られ始めるなど、景気は最悪の局面を脱しつつあります。当社グループの属する医薬品業界におきましては、製薬企業は、大型主力製品が相次いで特許切れとなるいわゆる「2010年問題」を目前にして、成長維持や新たな利益機会の創出に向け、新薬の研究開発を活発化させており、こうした流れの中で、研究開発費の有効活用や研究開発のスピードアップを図るべく、研究開発プロセスのアウトソーシング化を進めております。

このような状況におきまして、当社グループは、創薬事業において、キナーゼ阻害薬の新薬候補化合物の早期導出に向けた創薬研究に継続的に取り組む一方で、創薬支援事業において、顧客ニーズに基づいた新製品・新サービスの開発と製品・サービス提供後の迅速な顧客サポートに重点を置いた事業運営を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は318百万円（前年同期比33.8%増）、営業損失162百万円（前年同期は118百万円の損失）、経常損失158百万円（前年同期は167百万円の損失）、四半期純損失は162百万円（前年同期は168百万円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りです。

(1) 創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービスの提供により、創薬支援事業の売上高は298百万円（前年同期比32.7%増）、営業利益は51百万円（前年同期比54.3%増）となりました。売上高の内訳は、キナーゼタンパク質の販売154百万円（前年同期比21.2%増）、アッセイ開発54百万円（前年同期比97.9%増）、プロファイリング・スクリーニングサービス87百万円（前年同期比38.5%増）であります。

(2) 創薬事業

当第2四半期連結累計期間の創薬事業の売上高は20百万円（前年同期比52.9%増）、営業損失は214百万円（前年同期は151百万円の損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期末における総資産は1,781百万円（前連結会計年度末比289百万円減）、負債は122百万円（前連結会計年度末比159百万円減）、純資産は1,658百万円（前連結会計年度末比130百万円減）となり、自己資本比率は93.1%（前連結会計年度末86.4%）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により316百万円減少し、投資活動により76百万円増加した結果、当第2四半期連結会計期間末においては1,192百万円（前連結会計年度末比239百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は316百万円（前年同期は104百万円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失161百万円、売上債権の増加32百万円、未払金の減少106百万円、前受金の減少59百万円及び減価償却費50百万円の計上等の差し引きによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は76百万円（前年同期は5百万円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入による支出115百万円、定期預金の払戻による収入200百万円、有価証券の取得による支出200百万円及び有価証券の売却による収入200百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローはありませんでした（前年同期は813百万円の獲得）。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、第3四半期以降の事業計画の見直しを行った結果、平成21年2月13日に公表しております平成21年12月期の通期の連結業績予想を修正いたしております。詳細につきましては、本日（平成21年8月13日）、別途公表しております「平成21年12月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関しては、該当事項はありません。
記載すべき重要な簡便な会計処理の適用についても、該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条1項第5号ただし書により、改正後の四半期連結財務諸表規則を適用しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間より適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。
これによる損益に与える影響はありません。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。
これによる損益に与える影響はありません。

④「リース取引に関する会計基準」の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を第1四半期連結会計期間より適用し、通常の売買取引による会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年12月31日以前のものについては、期首に前連結会計年度末における未経過リース料期末残高相当額(利息相当額控除後)を取得価額として取得したものととしてリース資産を計上する方法によっております。

これによる損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	706,290	831,545
売掛金	69,512	36,426
有価証券	501,364	700,586
商品及び製品	60,994	48,921
仕掛品	16,224	7,613
原材料及び貯蔵品	18,301	12,409
その他	39,822	68,303
貸倒引当金	△8	△499
流動資産合計	1,412,501	1,705,308
固定資産		
有形固定資産	160,943	203,715
無形固定資産	28,930	24,000
投資その他の資産	178,896	137,777
固定資産合計	368,769	365,493
資産合計	1,781,271	2,070,801
負債の部		
流動負債		
買掛金	280	2,105
未払金	30,070	135,689
未払法人税等	3,104	4,533
その他	68,821	126,889
流動負債合計	102,276	269,216
固定負債		
リース資産減損勘定	—	12,389
繰延税金負債	20,075	—
固定負債合計	20,075	12,389
負債合計	122,351	281,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,964,570	1,964,570
資本剰余金	513,787	513,787
利益剰余金	△845,303	△682,869
株主資本合計	1,633,054	1,795,488
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,334	△1,110
為替換算調整勘定	△3,469	△5,183
評価・換算差額等合計	25,864	△6,293
純資産合計	1,658,919	1,789,195
負債純資産合計	1,781,271	2,070,801

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
売上高	318,805
売上原価	94,275
売上総利益	224,529
販売費及び一般管理費	387,149
営業損失(△)	△162,619
営業外収益	
受取利息	2,822
為替差益	319
その他	1,012
営業外収益合計	4,154
営業外費用	
支払利息	13
営業外費用合計	13
経常損失(△)	△158,479
特別損失	
減損損失	3,429
固定資産除却損	22
特別損失合計	3,452
税金等調整前四半期純損失(△)	△161,932
法人税、住民税及び事業税	502
法人税等合計	502
四半期純損失(△)	△162,434

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△161,932
減価償却費	50,976
減損損失	3,429
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△424
受取利息	△2,822
支払利息	13
固定資産除却損	22
売上債権の増減額(△は増加)	△32,362
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,338
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,831
前受金の増減額(△は減少)	△59,728
未払金の増減額(△は減少)	△106,129
その他	18,285
小計	△318,839
利息の受取額	2,726
法人税等の支払額	△1,528
法人税等の還付額	1,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	△316,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△200,000
有価証券の売却による収入	200,000
有形固定資産の取得による支出	△7,649
無形固定資産の取得による支出	△6,699
差入保証金の回収による収入	6,049
定期預金の預入による支出	△115,451
定期預金の払戻による収入	200,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	76,247
現金及び現金同等物に係る換算差額	529
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△239,841
現金及び現金同等物の期首残高	1,432,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,192,291

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	創薬支援事業 (千円)	創薬事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
外部顧客に対する売上高	298,555	20,250	318,805	—	318,805
計	298,555	20,250	318,805	—	318,805
営業利益又は営業損失(△)	51,418	△214,038	△162,619	—	△162,619

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品名又は事業の内容

(1) 創薬支援事業…キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発
プロファイリング・スクリーニングサービス

(2) 創薬事業……キナーゼ阻害薬研究

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	日本(千円)	北米(千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	239,310	79,495	318,805	—	318,805
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	53,916	—	53,916	(53,916)	—
計	293,227	79,495	372,722	(53,916)	318,805
営業利益又は営業損失(△)	△165,080	△37	△165,118	2,498	△162,619

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米…米国

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	79,495	36,365	3,052	118,913
II 連結売上高（千円）				318,805
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	24.9	11.4	1.0	37.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米…米国、カナダ

(2) 欧米…デンマーク、ベルギー、英国、スペイン

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前四半期に係る財務諸表等

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)		
	金額(千円)		
		百分比 (%)	
I 売上高		238,273	100.0
II 売上原価		59,980	25.2
売上総利益		178,292	74.8
III 販売費及び一般管理費		296,428	124.4
営業損失		118,136	△49.6
IV 営業外収益			
1 受取利息	1,717		
2 助成金収入	550		
3 その他	167	2,434	1.0
V 営業外費用			
1 支払利息	128		
2 株式交付費	8,398		
3 支払手数料	1,345		
4 為替差損	4,492		
5 創立費償却	523		
6 株式公開費用	36,588	51,476	21.6
経常損失		167,178	△70.2
VI 特別損失			
1 固定資産除却損	346		
2 減損損失	176	523	0.2
税金等調整前中間純損失		167,701	△70.4
法人税、住民税及び 事業税		502	0.2
中間純損失		168,203	△70.6

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前中間純損失	△167,701
2 減価償却費	19,010
3 減損損失	176
4 受取利息	△1,717
5 支払利息	128
6 固定資産除却損	346
7 株式交付費	8,398
8 株式公開費用	36,588
9 リース資産減損勘定の取崩	△5,718
10 売上債権の減少額	4,852
11 たな卸資産の増加額	△13,465
12 未払金の減少額	△26,236
13 未収・未払消費税等の増減額	△4,266
14 前払費用の増加額	△5,944
15 長期前払費用の減少額	8,473
16 未払費用の増加額	5,392
17 前受金の増加額	33,527
18 立替金の減少額	1,337
19 その他	2,149
小計	△104,668
20 利息の受取額	1,307
21 利息の支払額	△142
22 法人税等の支払額	△1,252
23 法人税等の還付額	405
営業活動によるキャッシュ・フロー	△104,350
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△3,652
2 無形固定資産の取得による支出	△1,463
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,115

	前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 長期借入金の返済による支出	△25,000
2 株式の発行による収入	872,041
3 株式公開費用	△36,588
4 新株式申込証拠金取得による収入	2,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	813,102
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△187
V 現金及び現金同等物の増加額	703,449
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,201,029
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,904,479

(3) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)

	創薬支援事業 (千円)	創薬事業 (千円)	連結(千円)
売上高			
外部顧客に対する売上高	225,027	13,245	238,273
計	225,027	13,245	238,273
営業費用	191,710	164,698	356,409
営業利益又は営業損失(△)	33,316	△151,452	△118,136

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品又は事業の内容

- (1) 創薬支援事業・・・キナーゼタンパク質、アッセイ開発
プロファイリング・スクリーニングサービス
- (2) 創薬事業・・・キナーゼ阻害薬研究

3 全ての営業費用は各セグメントに配分されているため配賦不能営業費用はありません。

2 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)

	日本(千円)	北米(千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	234,321	3,951	238,273	—	238,273
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,432	—	6,432	(6,432)	—
計	240,754	3,951	244,705	(6,432)	238,273
営業費用	348,474	10,884	359,358	(2,949)	356,409
営業損失	107,719	6,933	114,653	(3,482)	118,136

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

北米・・・米国

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

3 海外売上高

前中間連結会計期間(自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	60,188	23,562	16,749	100,500
II 連結売上高(千円)	—	—	—	238,273
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.3	9.9	7.0	42.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… デンマーク、ベルギー、英国、スペイン

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。